

高齢者的心のケアをめざす

(第6回)

ボランティア・ミシガン研修

2014年11月2日～11月9日



身近に高齢者と接するボランティア

災害で傷ついた被災者の心のケアにあたるボランティア

の皆さんにお勧めします

研修のご案内

紅葉のキャンパスで 心を支えるあり方を学びましょう

森と湖に囲まれた美しい街・ミシガン州アナーバー市の中心に位置するミシガン大学は、医療・保健および老年学の分野において学術的・臨床的成果を修め、高い評価を得ています。

「ボランティア・ミシガン研修」は、少子高齢社会及び人口減少社会における社会福祉の増進を図ることを目的に、心のケアをめざすボランティアを同大学に派遣し開催します。

同大学ヘルスシステム附属の「ターナークリニック」では、患者と同じ高齢ボランティアの協力のもと、地域での在宅療養に力を注いでいます。1979年にクリニックが開所して以来、ソーシャルワーカーのルース・キャンベルさんは、「ピア・ボランティア」を組織して地域に貢献してきました。「ピア」とは「同僚・仲間」の意。同じ年代のボランティアが定期的に高齢患者の自宅を訪ね、話の聴き役となる友愛訪問を行っています。“心のケア”は専門家でないとできませんが、友人や家族にも言えないような悩みや、時には心に秘めた辛い話などを聞くことによって、打ち明けられる関係をつくっていく。これによって元気を取り戻すというのが友愛訪問の目的です。

本研修では、日本の医療・保健・福祉に造詣の深い講師陣が、傾聴が果たす役割の大きさな

ど、ひとの心を支えていくあり方について、わかりやすく教えてくださいます。事例を交えての講義のほか施設見学、現地のボランティアとの交流やボランティアに同伴しての活動なども体験できます。また、野外でのアクティビティで楽しくチームワークを学び、自分を見つめる体験学習なども用意しています。

高原が秋の色に染まったミシガンのすばらしい環境の中で、ピア・ボランティアや研修に参加した仲間と経験を分かち合い、じっくり語り合うひと時は、これから活動に大きな示唆と活力を与えるでしょう。

どうぞこの研修を通してご自身の人生と活動に、新しい風を吹き込んでください。



ミシガン大学キャンパス

講師紹介



ルース・キャンベル

Ruth Campbell, MSW

ミシガン大学附属ターナークリニック
元ソーシャルワーカー部長

略歴：ターナークリニックでソーシャルワーカー部長を29年務めた。ピア・ボランティアを組織し、地域の高齢者や家族のために、ボランティアと共に数多くのサポートプログラムを開発。2006年から東京大学老年学研究プログラム客員研究員。



フォーク阿部まり子

Mariko Abe Foulk, ACSW

ミシガン大学ヘルスシステム
臨床ソーシャルワーカー

略歴：ミシガン大学ヘルスシステムで高齢者と家族の社会心理アセスメント、カウンセリング、ケアマネジメントなどを担当。ソーシャルワーカーおよび関連医療職種の実習生の研修、スーパービジョンに携わっている。2003～2005年まで東北福祉大学大学院で教授を務めた。

カリキュラムの概要

| | |
|-------|--|
| 11月2日 | 成田空港発→デトロイト空港着→ホテルへ移動 |
| 3日 | 講義『ボランティア活動の目的』、『ピア・ボランティアの歴史と活動』 交流『ピア・ボランティアとのディスカッション』 見学『ターナー・シニア・リソース・センター』 |
| 4日 | 見学『現地ボランティアに同伴して活動見学』、『ターナークリニック』 |
| 5日 | 体験『チャレンジ・プログラム』 |
| 6日 | 見学『アーバーホスピス』 交流『地域サービス機関の紹介』、『日米ボランティアの意見交換会』 |
| 7日 | 講義『認知症、うつ、悲嘆』、『傾聴と共感、ライフレビュー、ロールプレー』 総括『研修を振り返って』 修了式 |
| 8日 | デトロイト空港発→成田空港着（11月9日） |

※カリキュラムは変更になることがあります

※全てのカリキュラムに通訳がつきます

●当財団ホームページで研修の様子をご覧いただけます。

<http://www.univers.or.jp>



日米ボランティアの意見交換会

『ルース・キャンベルさんの講義』から

相手のペースに合わせる大切さを覚る

ボランティアが活動をする上で注意していただきたいことは、相手に無理に「喋らせよう」としないことです。それでは「あるがままを受け入れる」ということになりませんし、自分の「喋るべきだ」という価値観、自分のペースの押しつけに

なってしまうからです。ボランティアには元々積極的な人が多いのに対し、クライアントの中には消極的になっている人も多いのです。無理に喋らせようとするのは相手を無視したボランティア側の満足にすぎないのでしょうか。長期的、定期的な活動の中で、相手のペースに合わせて口を開いてもらうことが大切なのです。

参加者の声より

►お互いに信頼しあうということがどんなに素晴らしいことか。また、信頼できる人がいるということが、どんなに心に平穏をもたらすことか、つくづく感じました。こうしたボランティアを継続させることができれば、世の中も変わっていくのではないかと思いました。

►この研修を通して、聞くことの大切さを学びました。大切なのは、相手の方の尊厳を守り、その方の考え、思いを大切にして、寄り添うことだと教えていただきました。ボランティアにできることは、ただそばに居てその方の自立を見守ってあげること、という認識を新たにしました。

(第6回)

ボランティア・ミシガン研修

－募集要項－

募集人員：15名

日 程：平成26年11月2日（日）～11月9日（日）

開催場所：ミシガン大学ヘルスシステム附属ターナークリニック、その他（米国ミシガン州）

参加対象：身边に高齢者と接するボランティア、傾聴ボランティアなど高齢者や災害被災者などの心のケア活動に取り組まれている方
(プログラムには通訳がつきますので、どなたにも安心してご参加いただけます)

費 用：100,000円（概算）

国際航空運賃、ホテル代、現地での食事代および地上移動費を含みます。

宿 泊 先：キャンパス・イン（お部屋はツインルームとさせていただきます）

申込方法：参加希望の方は以下のものをユニバーサル財団宛に郵送にてご提出ください。

*所定の申込書

*1,000字程度の作文

テーマ「ボランティア・ミシガン研修に臨むにあたって
—ボランティア活動の経験を踏まえて—」

応募締切：平成26年8月15日（金）当日消印有効

選考結果：平成26年9月15日（月）までに、書面にてご連絡いたします。

*ご提出いただきました書類は返却いたしませんのでご了承ください。

*採否の理由など、選考に関わる内容についてのお問い合わせには応じかねます。

備 考：*日本発着空港は成田空港とさせていただきます。

*渡航に際しては、ユニバーサル財団スタッフが同行します。

*海外旅行傷害保険に加入していただきます。（保険料は当財団にてお支払い致します。）

*オリエンテーションを10月に行います。（日程は参加決定者にお知らせします。）

*個人情報の取扱いについて

参加申込書にご記入頂いた内容は、参加者選考、当財団からご本人への連絡以外には使用しません。なお、参加決定者については「氏名」「所属ボランティア団体名」を講師・スタッフ・参加者等の研修関係者に公表します。予めご了承ください。



宿泊ホテル 外観

お申し込み・お問い合わせ先



〒160-0004 東京都新宿区四谷2-14-8 YPCビル5階

Tel.03-3350-9002 Fax.03-3350-9008

<http://www.univers.or.jp> E-mail: info@univers.or.jp